

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会 編集 / 広報委員会

令和7年
(2025年)

11月号

第5回（9月）定例会

令和7年度田辺市一般会計補正予算などを可決



【目次】

主な議案の内容	P 2
議決結果ほか	P 3～4
一般質問	P 4～6
市議会ガイドブックの発行についてほか	P 7
第6回（12月）定例会予定ほか ..	P 8

表紙の写真

10月4日（土）に開催された第37回弁慶まつり「弁慶ゲタ踊り」に、田辺市議会として参加させていただきました。

当日は、企業や各種団体など、計19団体、625名の方が踊りに参加されました。

このほかにも様々な催しが行われ、大変にぎやかなお祭りとなりました。

第5回（9月）定例会

第5回（9月）定例会は、9月4日から9月26日までの23日間の会期で開催し、「物品購入契約の締結について」など、市長提出議案7件を全て原案のとおり可決しました。

また、市長専決処分事項など3件の報告を受けたほか、議員提出議案1件を可決し、「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」を政府に提出することを求める請願については継続審査としました。

なお、令和6年度一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算議案等11件は、各常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査としました。

本定例会では、9月16日及び17日の2日間にわたり、9人の議員が一般質問を行いました。

主な議案の内容

補正予算

●議案第5号

一般会計補正予算（第5号）

21億8996万8000円

・地域介護・福祉空間整備等施設整

備補助金

773万円

国庫補助金の採択を受けて、民間事業者が実施する施設の整備に対して補助を行う。

・梅干製造業雇用維持支援補助金

2000万円

本市の基幹産業である梅産業を守るため、降ひょう被害に伴う原材料不足により、深刻な影響を受けている梅干製造事業者を対象に支援制度を創設する。

・製材施設等生産力高度化支援補助金

960万円

県の補助事業の採択を受けて、民間の製材業者等が実施するエネルギー効率または生産効率等に優れた省力化機械の導入に対して補助を行う。

・林業機械生産力高度化支援補助金

182万円

県の補助事業の採択を受けて、民間の林業事業者が実施するエネルギー効率または生産効率等に優れた省力化機械の導入に対して補助を行う。

・民間施設木造木質化支援補助金の増額

727万6000円

県の建築物木造木質化支援事業において、市内の14事業者が採択される見込みであることから、民間施設木造木質化支援補助金を増額する。

・九鬼八木尾線（三里橋）改修事業

1億6100万円

令和7年5月24日の豪雨による河川増水により、橋脚周りの根固めブロックが沈下したことから、対策工事を実施する。

・新庄総合公園「水のゲートトイレ」改修事業

260万円

令和8年秋、新庄総合公園において「第49回全国育樹祭（お手入れ行事）」が開催されることから、その環境整備の一環として、トイレの改修に取り組む。

・紀南文化会館大規模改修事業

18億円

市民の利便性の向上と施設の長寿命化を図るため、紀南文化会館の大規模改修工事に着手する。

その他議案

●議案第1号

物品購入契約の締結について
子育て応援おこめ券購入契約の締結について、議会の議決を求めるもの。

契約金額／4112万3000円
相手方／和歌山米穀株式会社

●議案第2号

物品購入変更契約の締結について
高機能消防通信指令システム及び消防救急デジタル無線活動波システム購入変更契約の締結について、議会の議決を求めるもの。

元契約金額／20億8890万円
変更契約金額
／20億9677万2700円
相手方／NTT西日本株式会社
和歌山支店



議決結果

第5回（9月）定例会

件 名		議決結果
5定報告第1号	専決処分事項の報告について	報告
5定報告第2号	令和6年度一般財団法人龍神村開発公社の決算報告について	
5定報告第3号	令和6年度有限会社龍神温泉元湯の決算報告について	
5定議案第1号	物品購入契約の締結について 子育て応援おこめ券	原案可決 (全会一致)
5定議案第2号	物品購入変更契約の締結について 高機能消防通信指令システム及び消防救急デジタル無線活動波システム	
5定議案第3号	訴えの提起について	
5定議案第4号	訴えの提起について	
5定議案第5号	令和7年度田辺市一般会計補正予算（第5号）	
5定議案第6号	令和7年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	
5定議案第7号	令和7年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第1号）	
5定発議第1号	刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書の提出について	

※議案番号の前の「5定」は9月定例会を表しています。

※議案第〇号は市長提出議案、発議第〇号は議員・委員会提出議案です。

9月定例会に 提出された請願

次の請願が提出され、所管の総務企画委員会で審査を行い、継続審査としました。

◆請願名

「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」を政府に提出することを求める請願

◆請願者

なんきい法律事務所
弁護士 佐久間 桜 氏

◆紹介議員

前田 かよ

◆請願書要旨

「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」を採択し政府に提出してください。

議会用語解説

●請願 せいがん

請願とは、国や地方公共団体等に対し、文書により希望や要望を申し出るもので、憲法に定められた国民の権利の一つです。

地方議会に請願を提出する場合は、地方自治法の規定により、一人以上の議員の紹介が必要です。

●意見書 いけんしょ

地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して、議会の意思を意見としてまとめたものです。

地方自治法第99条に基づいて議員が発案し、議決後、議会名で国会や関係行政庁へ提出することができます。

ただし、議会が属する地方公共団体の長に対しては提出できません。



第5回（9月）定例会で可決した意見書

第5回（9月）定例会では、次の意見書を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関へ提出しました。

刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書

（令和7年9月26日提出） ※抜粋

えん罪被害者を救済するための制度である再審については、現行の刑事訴訟法の規定（第四編再審）に再審請求手続の審理の在り方に関する規定がほとんど定められておらず、事件を担当する裁判官によって審理の進め方が異なり、不公平感や審理格差が生じている。

また、過去のえん罪事件では、警察や検察等の捜査機関の手元にある証拠が再審請求手続において開示されたことが、えん罪被害者を救済するための大きな原動力になっているものの、現行法に証拠を開示させる明文規定が存在せず、再審請求手続における制度的保障がないことから、裁判官及び検察官の対応によって証拠開示の範囲に大きな差が生じている。

さらに、再審開始決定がなされても、検察官が幾度も不服申立てを行う場合があり、再審公判に移行するまでに長期間を要している。

これまで、三審制が採用されているにもかかわらず、幾つもの再審無罪判決が出されてきたことを鑑みれば、再審制度は重要な意義を有しており、以上の問題を是正した再審に係る手続規定の整備が必要であると考えます。

よって、国及び政府においては、えん罪被害者の早急な救済のため、次のとおり刑事訴訟法の再審規定を速やかに改正するよう強く求める。

記

1. 再審請求の手続規定を整備すること
2. 再審請求手続における証拠開示を制度化すること
3. 再審開始決定に対する検察官の不服申立てを禁止すること

※**議**は議員からの質問・意見、**市**は市当局の答弁を表しています。
※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

一般質問

浅山誠一議員



議 近年、リチウム蓄電池を使用した製品に起因する火災事故が全国的に増加している。本市の状況は。

市 リチウム蓄電池が原因の可能性がある発火・発煙トラブルは、過去3年間に3件発生した。プラスチック製容器包装の再商品化事業者からも3件の発火事案があったとの報告を受けている。

議 月に1回の定期収集とごみ処理場への持ち込みだけでなく、拠点回収を併用する考えは。

市 安全面から現時点では市として拠点回収は行っていない。国の動向等を踏まえ、より安全な収集運搬及び処理体制を確保してまいりたい。

リチウムイオン電池等の回収について

尾花 功議員



議 専用アプリを利用した通報システムについて、他市の事例を紹介した際、「情報専用アプリ導入についてのシステムづくりを検討している」との答弁があり、現在、通報システムが運用されているが、その現状は。

市 市道延長が1,358km、路線数3,069路線である市道の損傷箇所を職員だけで把握することが困難な状況から、道路・公園における損傷等を通報していただき迅速な対応につなげることを目的として、令和4年9月から運用している。年々通報件数が増加傾向であることから、徐々に市民の皆様浸透していると認識している。

議 今後とも迅速な対応をお願いしたい。

道路・公園損傷箇所等通報システムを利用した情報提供について

一般質問

加藤喜則議員



【議】令和8年度から全国で本格実施される**こども誰でも通園制度**について、本市の準備状況は。

【市】0歳児から2歳児を対象に、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境を整備するとともに、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で利用していただくため、現時点で公立保育所1か所での準備を進めている。また、専属の保育士の採用も進めており、質の高い保育を提供できるよう取り組んでまいりたい。

こども誰でも通園制度について

高栖浩史議員



【議】熊野古道を歩く外国人観光客が増加し、ペットボトル等のごみを自動販売機の横に置いたり、ごみ集積場の横に置いたりする事例が増えている。伏拝王子や三軒茶屋にごみ箱を設置できないか。

【市】世界遺産登録された当初はごみ箱を設置していたところもあったが、ごみ箱が満杯になっても捨てられ、観光地の景観や、自然環境への影響から撤去した経緯がある。ごみは各自で持ち帰るという紀伊山地の参詣道ルールを守っていただき、景観の保全と持続可能な観光地づくりにつなげていきたいと考えている。

熊野古道（伏拝王子、三軒茶屋）へのごみ箱の設置について

山本竜児議員



【議】本市の財政概況と人口ビジョンから見た現状認識と将来展望について問う。

【市】加速度的な人口減少と地域経済の縮小などの影響により今後財源の減少が見込まれ、さらなる財政構造の硬直化が懸念されることから、新たな行政需要や地域課題への対応は現状のままでは難しくなると考えている。

【議】市民の皆様の日々の努力が個人や家族の生活を安定させ、市内経済や市民生活の維持・発展につながる。市政がその営みを支えることで、持続可能な運営が実現できている。この循環こそが市政の本来あるべき姿であると考えことから、都市と地方が共に発展する基盤を築こうとする「都市資源の還流投資」という新たな考え方を提案したい。

本市の財政概況と人口ビジョンから見た新規枠組み構築の必要性について

前田かよ議員



【議】市が設定したエリア内（有田から串本まで）の入学者は57人との見込みだが、調査では**2030年から2050年にかけて18歳人口と進学者数は半減する**。学生確保の困難から運営が赤字になれば市が補助することになる。年間どれほどであれば可能と考えているのか。勝算はあるのか。

【市】定員が100%の場合、開学から2年は赤字で、3年目には黒字転換する見込みだが、エリア内からの入学者を含め**実際に学生が確保できるのか、検証は不可欠**であると考えている。

【議】財源も学生の確保も勝算があると言えない状況だ。赤字の補助を市税で充てる、このリスクを承知で**市民は大学設立を望んでいるのか**。行政の一番の使命は住民福祉の向上だ。

公立大学設立構想について

久保浩二議員



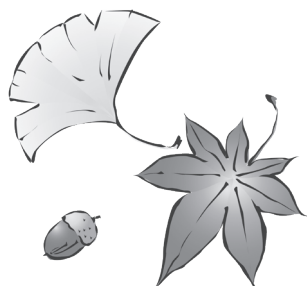
議 公立大学構想で設置場所が市役所旧庁舎跡地となっている。南海トラフ巨大地震・大津波で本市の被害想定はどれくらいとなっているのか。

市 建物被害は全半壊が 30,500 棟、死者は 15,600 人と想定されている。

議 市民の考えは、「巨大地震・大津波で危ないから市役所が高台に移転した。市職員は安全な場所に行って、若者を危険な場所に集めるのは信じられない。」甚大な被害が想定される場所に公立大学設置がふさわしいといえるのか。

市 立地の面で心配や不安の声があることは認識している。旧庁舎跡地への公立大学設置の意義やニーズ等を検証の上、実現性や持続可能性等を明らかにし、市民に説明していきたいと考えている。

公立大学構想 旧庁舎跡地は
設置場所としてふさわしいかについて



安達幸治議員



議 クマ等による人的被害対策として、一定の条件を満たせば、自治体判断で市街地での緊急銃猟を可能とする改正鳥獣保護管理法が施行されたが、市はその備えができていますか。

市 緊急銃猟にかかる運用方法やマニュアル策定などの体制構築は喫緊の課題であり、今後、保健所や周辺自治体等と協議を行い、猟友会とも連携を図りたい。



緊急銃猟を可能とする
改正鳥獣保護管理法について

笠松美奈議員



議 聴覚障害のある方にどのように防災情報を伝えるのか。

市 文字表示機能付きの防災行政無線戸別受信機を調査研究したい。防災訓練や避難所運営訓練でも、筆談や手話通訳者等による情報伝達を試みる。

議 防災まちづくり課に女性職員が必要だと考えるが、市の考えは。

市 昨年度まで4年間在籍した女性職員により、女性の視点で防災対策が進み、必要性は認識しているが、人事配置は市全体の状況を見て行われている。

議 国も推進している。女性の困り事は女性に相談したい人も少なくないことから、早期の配置を求める。

本市の防災施策について

市議会ガイドブックを 発行しました

田辺市議会では、議会における広報活動の充実を図ることを目的として、広報委員会を設置しています。その活動の一環として、「田辺市議会ガイドブック（第7版）」を発行しました。

このガイドブックは、市議会の仕組みや取組についてまとめた小冊子で、市議会を知っていただき、身近に感じていただくことを目的としています。

市内小中学校をはじめとした公共施設に配布するとともに、市役所本庁舎6階の議場傍聴席入口や議会ロビー等のラックにも設置しております。数に限りはありますが、ご希望の方にはお渡しすることができまので、議会事務局までご連絡ください。

また、ホームページからもご覧いただくことができます。

内容のご紹介

○議会の役割

二元代表制について など

○議会の仕事

○議会のしくみ

議長と副議長、会派 など

○会議の種類

○定例会の流れ

○市議会の状況

議員報酬、政務活動費 など

○市議会の改革

○議会の活動を知るには？

本会議の内容を知りたいときは

など

○田辺市議会案内図

○議会のハテナ

どうすれば議員になれるの？

本会議は何時から？ など



議会を傍聴しませんか！

議会では、市民の皆さんの生活に直結する重要な議題を審議しています。

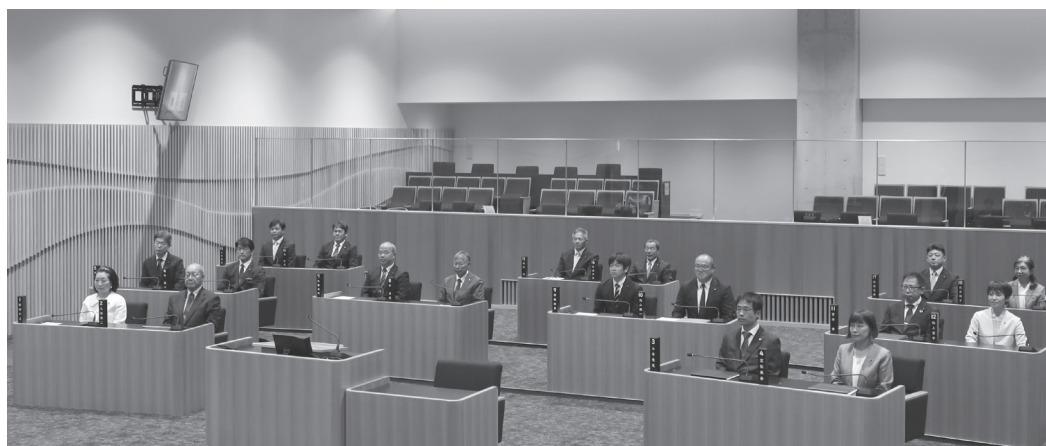
議会は、どなたでも気軽に傍聴できます。議員の考えや市の取組などを知るよい機会となりますので、ぜひ一度傍聴にお越しください。

議場の傍聴席へは、市役所本庁舎（東山一丁目5番1号）の6階から入場できます。定員は47名で、先着順となっており、受付は不要です。

また、手話通訳を希望される方は、事前に議会事務局へご相談ください。ただし、申込日によってはご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

定員が超過した場合などは、本庁舎6階の議会ロビーや本庁舎3階のコミュニティスペース等に設置しているモニターでご覧いただけます。

次の12月定例会の日程は、8ページをご覧ください。



議 会 活 動 日 誌

8月	【 6日】 田辺ONE未来デザイン調査特別委員会 【29日】 議会運営委員会
9月	【 4日】 定例会（1日目）、議会運営委員会、 文教厚生委員会、広報委員会 【16日】 定例会（2日目）、議会運営委員会 【17日】 定例会（3日目） 【18日】 産業建設委員会、文教厚生委員会 【19日】 総務企画委員会 【26日】 定例会（4日目）、議会運営委員会、 総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、 広報委員会、田辺ONE未来デザイン調査特別委員会
10月	【 7日】 文教厚生委員会 【 8日】 文教厚生委員会 【 9日】 産業建設委員会 【10日】 産業建設委員会 【14日】 総務企画委員会 【15日】 総務企画委員会、広報委員会

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、田辺市議会事務局までご連絡ください。

【連絡先】 田辺市議会事務局

〒 646-8545 田辺市東山一丁目 5 - 1

TEL 0739-26-9940（直通）

FAX 0739-25-5579

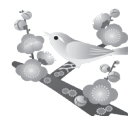
E-mail : gikai@city.tanabe.lg.jp

田辺市議会ホームページ

<https://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>



◀ こちらからもホームページ
にアクセスできます



次回の「市議会だよりの」

2月号

（第6回（12月）定例会の報告）

令和7年第6回（12月）定例会の会期日程（予定）

第6回（12月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。

日程は諸事情により変更される場合がありますので、恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
11	26	本会議1日目（決算審査委員長報告、議案審議、議案の提案説明）
	27	本会議2日目（委員長報告、議案審議、採決）
12	5	本会議3日目（一般質問）
	8	本会議4日目（一般質問）
	9	本会議5日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
	10・11	常任委員会（付託議案に係る審査）
	16	本会議6日目（委員長報告、議案審議）

※ 本会議の開会予定時刻は、11月26日、27日、12月16日が午後1時、それ以外は午前10時です。

編集後記

例年にならない猛暑が続いた今年の夏も終わり、ようやく過ごしやす季節となり、秋風がとてめ気持ちよくなってきた今日の頃です。

この夏にはカムチャツカ半島で発生した地震に伴い、本県にも津波警報が発表されました。幸いにも大きな被害につながりませんでしたが、遠い地で起きた地震が、私たちの住むこの地にも影響を及ぼすことを改めて痛感させられました。

本県では、将来的に発生が懸念される「南海トラフ巨大地震」への備えを強化しているところですが、今回の経験は、想定外の事態にも迅速に対応できる体制を整えることの重要性を私たちに教えてくれました。

議会では、災害から住民の命と安全を守るため、様々な角度から議論を重ねています。皆様におかれましても、この機会に御家庭での防災対策を見直していただければ幸いです。

これからも、市民の皆様の安心・安全な暮らしを守るため、議会は全力で取り組んでまいります。

（林）

広報委員会
委員長 前田 かよ
副委員長 林 謙二
委員 山本 竜児
" " 笠松 美奈
北田 健治